

記念時間時計

CONCEPT

このたびの震災が起きた3月11日の午後2時46分は、長く人々の心に残ると思います。しかし、時間が経てば、人々がこの地震を思い出すのは1年に1回だけになるかもしれません。阪神大震災がそうであるように「今日で震災から〇年が経ちました。」という報道を見て「ああ、〇年経ったんだ。」と感じるだけになってしまいがちです。

本当にそれでいいのでしょうか？
1年に一度思い出すだけの記念日にしてしまつて。
私たちはそれではいけないと考えました。
忘れてはいけないこと、忘れるべきではないことを、多くの人々の心に刻みたい。
そういう思いでこの提案を考えました。

QUESTION POINT

* 忘れてはいけないことを忘れ、次の災害や問題に活かせなくなる。そして、その失敗を繰り返してしまう。そうすると、犠牲になった人々のためにならない。



そこで

これらの問題点を解決するために私たちは、その時刻をもっと身近にするべきだと考えます。

そのために



をつくりましょう!

記念時間を定着させよう!

各家庭に! スクリーンセーバー

1. 日本の記念時間は国会で定め、世界の記念時間は国連で定めます。
2. 記念時間時計をつくります。
3. 公共の場所には設置することを義務づけます。
4. 全国版以外に、ローカル版も作ることを進めます。



最初の画面は記念時間になるまで宇宙と地球のCG映像で地球が回転しています。



記念時間になると地球が広がりその場所を中心に世界地図になる。

アナログ時計



記念時間の例

- AM 1:23 チェルノブイリ原子力発電所事故
- AM 3:34 チリ地震
- AM 5:46 阪神大震災
- AM 7:58 スマトラ沖地震
- AM 8:00 地下鉄サリン事件
- AM 8:15 広島に原子力爆弾投下
- AM 8:46 アメリカ同時多発テロ事件
- AM 9:18 JR福知山線脱線事故
- AM 10:58 長崎に厚子カ爆弾投下
- PM 0:00 太平洋戦争終戦
- PM 2:46 東日本大震災
- PM 6:56 日本航空JAL123便墜落事故
- PM 8:00 ベルリンの壁開放
- PM 8:17 アポロ11号の月面着陸
- PM 10:51 はやぶさ 世界初のサンプルリターン



拡大され、場所や写真などで記念時間の意味を説明する

まとめ

このようにして国民が「これは忘れないようにしよう」という記念時間を記念時間時計に刻んでいきましょう。

震災のように悲しい出来事だけでなく、いつか「世界から核兵器が無くなった記念時間」を刻みたいと真剣に考えています。

2つのリングは、人々のキズナの輪をイメージして描きました。そしてこの地球は世界を表しています。